

EPAハノイ便

特別号

平成 29年 3月 2日
ARC ベトナム校
発行

EPA候補者 陛下に謁見

3月2日、天皇陛下がベトナムにお越しになりました。アークのエPA介護福祉士候補者4名は、青少年との懇談会で陛下に謁見できました。

まず、代表者が自己紹介しました。「陛下、お目にかかれて大変でございます。私は、グエンティハインと申します。アークアカデミーの介護福祉士候補者です。私たち200名は1年間日本語の勉強をして、今年の5月に日本へ行く予定です。日本で日本語の勉強や介護の仕事をしながら、国家試験合格を目指します。そして、長く日本で働きたいと思えます。」



緊張した表情の代表者。文廟の前。

その後、陛下と会話をしました。以下陛下との問一答です。

まずは、ハインさん。

陛下「日本にどのくらい行ってらっしゃったんですか。」

ハイン「日本に一度も行ったことがありません。」

陛下「日本語はどのくらい勉強しましたか。」

ハイン「1年間勉強しました。」

陛下「そうか、1年間だけですか。日本語がすごく上手ですね。」

ハイン「まだまだでございます。分からないことがたくさんあります。」

陛下「日本は、どこへ行く予定ですか。」

ハイン「横浜市へ行く予定です。」

陛下「日本は高齢者が増えていますから、手伝ってくださり、嬉しいわ。」

ハイン「はい、がんばります。」

陛下「介護の試験がありますね。難しいですよ。日本で仕事も勉強もがんばってくださいね。」

ハイン「はい、国家試験はとても難しいので、頑張っ合格したいと思います。ありがとうございます。」

続いて、チュンさん

陛下「日本のどこに行きますか。」

チュン「私は、東京の西久留米市に行く予定ですでございます。」

陛下「どうして日本に行くかと思ったんですか。」

チュン「日本のお年寄りの役に立ちたいし、ベトナムと日本の懸け橋になりたいと思いましたから。」

陛下「日本語の勉強はどうですか。」

マイ「私にとって、日本語は、始めは本当に難しかったですが、毎日勉強を続けてだんだん好きになりました。」

陛下「どうして日本に行きたいんですか。」

マイ「私は、医療が進んでいる日本で、技術力のある介護福祉士になりたいと思ったからです。」

トウエツトさん

陛下「日本語の勉強はどうですか。」

トウエツト「漢字の勉強が一番面白いです。漢字を勉強する時には、人と物の形を想像しながら、勉強します。本当に面白いです。」

トウエツトさん

陛下「何が面白いですか。」

トウエツト「漢字の勉強が一番面白いです。漢字を勉強する時には、人と物の形を想像しながら、勉強します。本当に面白いです。」

陛下「何が面白いですか。」

トウエツト「漢字の勉強が一番面白いです。漢字を勉強する時には、人と物の形を想像しながら、勉強します。本当に面白いです。」

陛下「何が面白いですか。」

トウエツト「漢字の勉強が一番面白いです。漢字を勉強する時には、人と物の形を想像しながら、勉強します。本当に面白いです。」

陛下「何が面白いですか。」

トウエツト「漢字の勉強が一番面白いです。漢字を勉強する時には、人と物の形を想像しながら、勉強します。本当に面白いです。」

陛下「何が面白いですか。」

トウエツト「漢字の勉強が一番面白いです。漢字を勉強する時には、人と物の形を想像しながら、勉強します。本当に面白いです。」

陛下「何が面白いですか。」

トウエツト「漢字の勉強が一番面白いです。漢字を勉強する時には、人と物の形を想像しながら、勉強します。本当に面白いです。」



文廟の中にて

4人の感想

陛下にお目にかかれて、とても光栄でした。感動しました。陛下と話せることは、一生に一回だけだと思います。それで、すごく緊張しました。でも、両陛下はとても優しい方でした。なので、うまく話せました。陛下に握手していただいたので、言葉にできないぐらい幸せでした。両陛下の期待に答えて、これからもがんばっていきたいと思います。とてもいい思い出になりました。ありがとうございました。



謁見の後、取材を受ける候補者

代表者は、陛下に、笑顔で大きな声で、お話しすることができました。取材にもしっかりと答えることができ、堂々たる度胸の良さを感じました。

夕方には、陛下とのレセプションがあり、遠藤が参加しました。

一問一答は以下の通りです。

大使館「陛下、こちらがアーケアカデミー日本語学校校長の遠藤先生です」

陛下「資料を拝見して、お会いしたいと思っておりましたのよ。」

え「光栄でございます」

陛下「どんな勉強を教えていらっしゃるの。」

え「ベトナムでは、看護師候補者と介護福祉士候補者に対する日本語教育を実施しております。」

陛下「ああそうなの。」

え「午前中に、候補者が陛下にごあいさつさせていただきますました。大変光栄であったと申しております。」

陛下「ああ、午前中に会った方たちね。」

え「はい。」

陛下「あの方たちは、どのくらい勉強していらっしゃるの。」

え「1年間、ベトナムで勉強いたしました。」

陛下「たった1年でそんなに上手になれるのね。」

え「はい、よく勉強する候補者でございます。」

陛下「本当に上手でした。」

え「ありがとうございます。」

陛下「いいお仕事をしたいらっしゃるわね。」

え「大変光栄に存じます。」

陛下「日本では、高齢者が多くなっておりますよね。ベトナムもそうなるのでしようから、日本・ベトナム両国民のために、よろしく願いますね。」

え「はい、しっかりとした教育を実施していきたいと存じます。ありがとうございました。」

感想

青少年との懇談会や、レセプション参加を通して、お優しい陛下にお目にかかることができました。日本語教育を通して、こんな誇らしい行事に参加させていただき、光栄な気持ちでいっぱいでした。今後も、社会の役に立つ日本語教育を目指していきたいと思えます。(え)



引用：日テレ NEW24